

第3回東大阪市高齢者地域ケア会議 企画運営会議 要旨

開催日 令和2年8月26日(水) 午後2時より午後3時30分まで

協議内容

- ・東大阪市高齢者地域ケア会議「高齢者生活支援等会議」は多くの地域で開催できていない。
- ・地域包括支援センター向日葵より第1層への課題提示が行われた。内容としては「地域ミーティングからのローラー作戦」「認知症キッズサポーター養成講座を通じた地域での見守りの眼の構築」。
- ・令和2年度の提案について、事務局より候補を挙げ、意見交換を行った。主題は「コロナ禍における高齢者支援について」、副題は「新しい生活支援を考える」に決まる。
- ・認知症本人交流会は9/5に第5回目を開催予定。東大阪市認知症高齢者本人活動支援ワーキンググループ会議では支援者向けの若年性認知症ハンドブック(案)を作成しており、内容案ができています。

各機関の報告

1 各選出機関の活動状況について

- ・基幹型地域包括支援センター 8/24 地域包括支援センター担当職員研修「弁護士と考える8050問題」講師は森本哲平法律事務所の森本弁護士。参加者数は地域包括支援センターが会場参加：9名、ウェブ参加：14名、障害関係が会場参加：5名、ウェブ参加：11名、オブザーバー：3名の計42名。
9/29 地域包括支援センター担当職員研修「地方独立行政法人 市立東大阪医療センター地域医療連携室と地域包括支援センターとの意見交換会」
- ・地域包括支援センター 8/20 地域包括支援センター連絡調整会議 多職種連携会議や介護予防教室などの事業の在り方について意見交換を行った。
- ・訪問看護事業者部会 ZOOMでの意見交換の難しさや医療にあまりかかっていない方の熱中症が多いように感じている。厚生労働省からマスクが届いている。
- ・介護支援専門員連絡会 ウェブ会議ができるように現在練習中。研修も滞っているため、会員へ熱中症対策や新型コロナウイルス感染症予防の資料などを送付している。事業として行わないといけない研修も各事業所で取り組めるようにバックアップしていきたい。
- ・布施医師会 8/18 東大阪市一般介護予防事業 脳の健康教室開講式 参加者28名
8/22 布施緩和ケア研修会 ZOOMにて開催、参加者58名
7/30 病病連携連絡会 各病院における新型コロナウイルス感染症への対応
8/29 病診連携懇話会 発熱患者への対応・新型コロナウイルス感染症への取り組み 布施医師会及びZOOMにて開催
認知症初期集中支援チーム 布施 123件エントリー/81件終了
8/13 コロナPCR検査集合契約 保健所と三医師会間で締結 8/1まで遡って算定可能
- ・河内医師会 9/12 令和2年度東大阪市市民健康シンポジウム 中止
新型コロナウイルス感染症の疑いがある患者は市立東大阪医療センターを紹介している。ドライブスルー形式のPCR検査の再度立ち上げを模索中。
- ・枚岡医師会 保健所と契約を結び、委託という形で一般診療所でPCR検査を行えるようになった。
- ・市立東大阪医療センター 新型コロナウイルス感染症の検査数は今後増やす方向性にある。
9/15 地域連携研修会「病院と地域の連携でその人らしい生き方を支えるがん患者のアドバンス・ケア・プランニング～当院の緩和ケアチームの症例から学ぶ～」
9/17 緩和ケア研修会「緩和ケアチームが介入した症状緩和の症例報告」
10/1 緩和ケア研修会「苦痛スクリーニングから始まる緩和ケア～外来と病棟の連携～」
10/16 NST勉強会「NST専門療法士の豆知識～看護師の視点から～」

- ・社会福祉協議会 新型コロナウイルス感染症の影響を受け収入が減少、失業した方への貸付(緊急小口資金・総合支援資金)の申込件数は7月末時点で1万2千件超えている。貸付期間が延長になったことに伴い、貸付利用者に対し大阪府社会福祉協議会から8月に2回延長の申請案内が送られている。
- ・保健所 10/7・12/9 UKK ウォークテスト 大阪大学とのコラボ
11/19 肺の健康づくり普及講座「肺の生活習慣病(COPD)って??～肺年齢を若く保つためにできること～」 今年度は肺年齢テストは実施しない。
- ・福祉事務所 例年9月に市内の100歳を迎えられた方に対し表彰を行っており、記念品を手渡ししていたが、今年は本人の意向を踏まえて手渡しもしくは郵送で対応する予定。
- ・地域包括ケア推進課 近畿大学 谷本准教授に協力してもらい筋肉トレーニングの動画を作成中
市立東大阪医療センター精神科との意見交換を行った。多くの患者は東大阪市民で若年性認知症の方も若干名いる。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、外来予約は現在スムーズに対応できる。